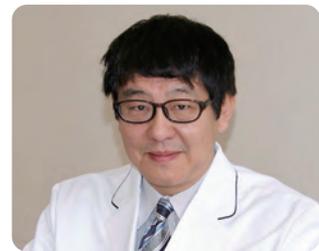


126」2の 広場

2022.1

思えば遠く来たもんだ

院長 川並 透



1974年(昭和49年)は寅年です。今年、2022年はその48年後で干支は4回まわって再び寅年です。1974年の寅年におきたこと。山形病院がここ山形市行才126-2番地に開設されたのです。行才の土ノ子から48年。思えば遠く来たもんです。

山形病院といえば結核診療、てんかんセンター、重症心身障がい医療です。さらに山形県委託事業として認知症疾患医療センター(連携型)と難病診療分野別拠点病院(神経・筋)が本院の仕事に加わりました。当院発の新しい試みとしてはALS治療研究センターと手話外来が始まりました。

新しい試みは、さらに新たな領域を切り開いていきます。神経・筋疾患の診療から院内に神経難病に関わる緩和医療チームができたのがその一例です。さらにALS治療研究センターの設立により積極的に新しい治療法の開発にかかわることになりました。新しい医療を切り開く病院へと成長し、病院は頑是ない子供時代からずいぶん遠く来たもんです。

もっと遠くを考えましょうか。もう一回干支が回ると12年後は2034年(令和16年)です。生活総研の未来予想によると2034年には人工腎臓を体内に埋め込む治療が実用化される。細胞を素材に3Dプリンターの技術で臓器の一部分を作って病気の部分と取りかえることが可能になるとされています。老化した組織を3Dプリンターで作った新しい組織に取り換えれば部分的とはいえ若返るのですね。

もっともっと遠くに行きましょうか。10回干支が回ると120年後は2142年で令和124年です。この年の1月1日は月曜日、12月31日も月曜日です。その時に私たちの子孫が山形市行才の地で誰かの役に立っていますように。ALS治療研究センターで開発された薬がドラッグストアで買える時代でありますように。今年一年の皆様のご多幸をお祈りいたします。そして120年後に今年の頑張りが実を結んでいますように。



ミッション

・患者さんに優しく信頼される医療で社会に貢献します。

ビジョン

- ・神経難病(てんかんを含む)、重症心身障がい、リハビリテーション、結核、高齢者に対して良質な医療を提供します。
- ・医療連携を密にして地域に開かれた医療を目指します。
- ・良き医療人として知識・技術と人間性を養い常に自己研鑽に努めます。
- ・医師、看護師等の人材を確保し健全な経営基盤を構築します。

目次

- コロナ2年目のお話/コロナ関連院外研修 2・3
- 誓いの式/職場紹介 4
- 誕生会 5
- 看護師としての道のりを振り返り、今想うこと 6
- 年男・年女 7
- 料理コーナー 8・9
- 外来担当表/編集後記 10



COVID-19はどうなるか。

副院長 宇留野勝久

昨年12月25日時点での日本のワクチン接種完了率は78.1%でした。82%を超える中共と韓国に次いで、世界平均の42.3%よりかなり高い数字です。しかし、韓国と中国ではオミクロン株の感染者数が増加し、今のワクチンでは感染そのものは防げないと分かりました。一方で、オミクロン株が最初に広まった南アフリカでは、ワクチン接種率は26.3%だったものの年内に感染のピークが過ぎています。また、集団免疫獲得策を取ったスウェーデンではデルタ株による第5波が殆ど無かったのに対しオミクロン株は流行しましたが、死者重傷者は殆ど増えませんでした。オミクロン株は感染力は非常に強く、ワクチンでは防げなかったのですが、重症化せず自然治癒したと言う事です。このようなウイルスは言ってみれば弱毒株の生ワクチンのようなものなので、感染しても免疫を獲得し、次の変異株への予防となるかも知れません。インフルエンザのH1N1株と同じように、毒性の低いウイルスには感染しておいた方が良いのかも知れません。実際、我々は免疫で感染症に対応して来た訳ですし、毎年冬に風邪を引くのも、何らかのウイルスに感染しているのです。しかし、いわゆる重症化リスクの高い人たち(高齢者、基礎疾患のある人等)は弱毒ウイルスでも感染すれば重症化する可能性があり、やはり、ワクチン接種が最大の防御である事は間違いありません。これからは、新型コロナウイルスもインフルエンザと同じように季節性の流感の原因として残ると思われます。どちらも死亡率は同じ位で、高齢者で死亡率が高いのも共通しています。言い方を変えると、近年のインフルエンザ(死者数が増加している)も新型コロナも、社会の高齢化に伴う医療的問題のひとつでしょう。少なくとも感染症に関しては、健康寿命を延ばす事、即ち日頃から健康維持に努めるのが最大にして最良の対策と思われれます。次にやって来る新たな感染症に対しても、有効であるのも間違いありません。





コロナ2年目

感染管理認定看護師 千葉 哲子

2020年1月、同僚から「中国で新型のウイルスが出たんだって?」と言われた日から新型コロナウイルス(以下コロナ)に対する感染防止の日々が始まりました。SARSやMERSの時の様には日本には来ないと思っていたのも束の間、東京・大阪と拡がり、3月31日には、山形県第一号の感染者が報告されました。

当院では、対策として入院患者への面会禁止、及び患者、職員、業者各々の出入口を限定するなど、できるだけ人流制限の対策を講じました。また、コロナが院内に持ち込まれるとしたら、外来・入院患者、職員からの3つの感染ケースを想定しました。外来では発熱等の症状がある患者には問診を実施し、コロナ感染のリスクがないことを確認してから診察を行いました。入院患者さんは一か所の病棟で入院患者を受け入れ(11月からはPCR検査実施後入院受け入れ)、職員は、流行地域に行かないこと・会食(外食)を控える事をお願いしました。更にポスターを作成し、職員出入口に掲示し周知徹底を図りました。この措置により、職員にとっては、業務量の増加、未知の感染症に対する不安は相当大きく、肉体的にも精神的にも苦痛だったと思います。

また、ご家族にも面会禁止のため、会えない不自由な思い、終末期にある家族に寄り添うこともままならない状況にありましたが、6月からタブレット面会、窓越し面会を行いました。窓越し面会は職員が、患者家族の会いたい思いを叶えたいと思った自主的な行動でした。

感染対策と家族を含めた医療・看護の両立を、これからもコロナが阻むことはありますが、今以上乗り切るためのアイデアを絞り出して感染防止を講じていきたいと思っています。

コロナ関連 院外研修について

1病棟看護師 奥山 大輔

この度、10月11日～10月22日まで北海道医療センターにて感染看護実践向上研修を受講してきました。そこで病院内で新型コロナウイルス罹患患者の受け入れ体制や、外来患者のトリアージ、院内感染を予防するための対応、中等症程度の新型コロナウイルスに罹患した患者さんに対する看護を学びました。現在新型コロナウイルス感染者は減少傾向にありますが、今後第6波が来ると予想されています。今回研修で学んだ内容を現場でも活かしていきたいと思っています。



誓いの式を終えて



看護学校 教員 原田 典子

10月29日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校職員および2年生の出席のもと誓いの式を執り行いました。自分が目指す看護職に向け、これからも真摯に学び続けることをあらためて決意した日となりました。これからもさまざまな方々との出会いを大切に、学び続けることができるよう、教員として学生を支えていきたいと思ひます。

職場紹介

リハビリテーション科

作業療法士長 細矢 美香
理学療法士長 菊池 みき

リハビリテーション科は、理学療法士11名、作業療法士9名、言語聴覚士5名のリハビリテーション専門職25名によりリハビリテーションを実施しています。

対象疾患は、主に神経難病、脳卒中、脳性麻痺などの重症心身障害で、それぞれの疾患と病期の特徴踏まえてのリハビリテーションを実施しています。

前年度から新型コロナの感染対策上縮小していた毎週のリハビリカンファレンスも再開しました。これからも他職種連携のもと、患者さん・そのご家族様が安心してサービスを受けられるように取り組んでいきます。



10・11・12 誕生日会

療育指導室 保育士 松田 知美

重症心身障がい児(者)病棟では各月季節を感じられる内容で誕生日会を楽しみました。

10月、2大行事の1つである「秋のつどい」テーマをトリックオアトリートと題して企画しました。3病棟は還暦者・成人者のお祝いも行われ、ご家族の思いのこもったお手紙も紹介させて頂きました。活動ではハロウィンの仮装模写や射的のゲーム活動で盛り上がり、その後は特別ランチで秋の味覚を十分に堪能しました。

11月は各病棟共に療育棟での活動です。2病棟のテーマは「ギリギリ♡秋の大運動会」・3病棟は山形の風物詩「いも煮を作ろう」と題してのゲーム活動です。

各病棟全員が参加出来る内容とあってチームに分かれて白熱した賑やかな楽しい時間となりました。

12月、クリスマスツリーが会場を彩る中サンタさんとトナカイさんの登場に歓声が上がりました。2病棟はサンタのひげ伸とトナカイリレー、3病棟はクリスマスを飾ろうと題しての活動に笑いの絶えない年末の楽しい一時を過ごしました。

今後も笑顔あふれる楽しい行事を企画して行きたいと思います。

10月



11月



12月



看護師としての 道のりを振り返り、 今想うこと

副看護部長 滝口佐知子

長年看護師として勤務してきた中で、印象深い患者・家族がおります。低酸素脳症で人工呼吸器を24時間装着し、すべてのケアに介助を余儀なくされていた重症心身障がい児の方です。毎日面会される母の要望を取り入れながら、チームで情報共有し、母と一緒にケアを行い児や母親の笑顔を引き出していたこと、小児科医師の協力を得て入浴を実施したこと、病棟外広場では母が児を抱いて行事を楽しんでもらえるよう支援したことなど、看護の醍醐味を肌で感じていた10数年前を昨日の事のように鮮明に思い起こしております。命の灯が消える日に担当で立ち会ったことも、不思議な縁を感じる忘れられない場面です。医療が進歩した今も変わることのない患者家族参加型の医療・看護を実践できていたのではないかと、定年を迎える今これまでの歩みを振り返っております。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行の真只中ですが、山形病院職員1人ひとりが進むべき道に誇りを持ちながら患者・家族の立場に立った医療を実践してください。

長年支えてくださった職員・地域の皆様のご健勝を、地元山寺でお祈りしています。





2022年 年男・年女より 新年のご挨拶を申し上げます。

栄養管理室 調理師長 松田 浩治



新年あけましておめでとうございます。
時の流れは早いもので今年還暦を迎えます。昨年もコロナ感染症で世界中の多くの人々が感染し、大変な生活を強いられました。改めて健康のありがたさ、大切さを痛感した年でした。
今年は、還暦という人生の節目を期に健康増進に努めていきたいと思いをします。

検査科 臨床検査技師長 葛西 淳



本年は、60年に一度の「壬寅(みずのえとら)」にあたる年。「壬」とは、ゆったりと流れる大河を表し、加えて「決断」の意をもつ「寅」が合わさることで、落ち着きを持ちながらも、はっきりと決断できる年になるとのこと。何かとせわしい日々を過ごして参りましたが、今年は心にゆとりを持ち、おおらかに物事を見定め、山形病院の理念である「患者さんに優しく信頼される医療」に貢献できるよう日々努力して参ります。

地域医療連携室 医療社会事業専門員 須貝 緋登美



あけましておめでとうございます。
昨年は感染対策をしていたためか、風邪を引くこともなく元気に過ごせた年でしたので、引き続き健康に気をつけていきたいなと思います。
また、今年の春から上の子が小学生になるので、これまでより家を出る時間が早くなります。親子そろって朝が苦手なので、遅刻しないように一緒に早起きを頑張りたいと思います。
今年もどうぞよろしくお願いたします。

2病棟看護師 矢作 夏海



今年でいよいよ3年目になります。昨年は受け持ち患者への家族を含めた看護や、持てる力を引き出した看護を考えまとめ発表しました。今回の発表を通して患者の出来る力を最大限に引き出す関わりが大切だと改めて学ぶことが出来ました。今後はさらに視野を広げ、患者さんが楽しく、笑顔で過ごせるような看護を行っていききたいと思います。





2022年元旦 山形病院スペシャル 「おせち料理」



栄養管理室 副調理師長 木村 誉

新年明けましておめでとうございます。

当院では、毎年元旦の朝食にお雑煮を提供しており、当院スペシャルお餅は、喉に詰まらない、誰もが安心して食べられるように特殊な工夫をして仕上げてありますので、嚥下障害の患者さんもおいしくお雑煮を食べることができます。

そして!!夕食は!!『おせち料理』



一般食 (固形の料理)



移行食 (1cm角軟らか料理)



嚥下食 (ゼリー状の料理)



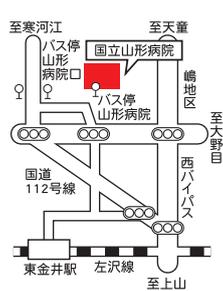
国立病院機構 山形病院 外来診療担当表

令和4年1月1日

区 分	月	火	水	木	金	備 考
脳 神 経 内 科 (頭痛・めまい・しびれ)	亀谷紫芙美	川並 透	黒川 克朗	亀谷紫芙美	川並 透	8:40~12:00 ※木曜日の川並先生と加藤先生は隔週で診察となります。
	宮林 隆夫	小林 和夫	山川 達志	川並 透	小林 和夫	
				加藤 丈夫		
認 知 症 外 来	※	—	—	—	※	13:30~17:00 ※当院脳神経内科医対応
内 科	—	—	—	—	熱海 裕之 (第1・第3)	13:30~16:00
呼 吸 器 内 科	—	寺下 京子	寺下 京子	—	寺下 京子	8:40~12:00
循 環 器 内 科(※)	—	太田 郁郎	—	—	—	※病棟対応13:00~
小 児 科 (※)	渡邊 王志	上村 雄太 <山形大> 中村 和幸 <山形大>	藤井 隆 <山形大> 荻野 大助 <山形大>	目黒 亨 <山形大> 安達 幸輔 <山形大>	目黒 亨 <山形大> 石垣 隆介 <山形大>	※病棟対応
精 神 科	—	—	能登 契介 (第2・第4)	—	—	9:00~12:00
て ん か ん	守川 新人	宇留野勝久	宇留野勝久 守川 新人 (新患)	守川 新人	宇留野勝久	8:40~12:00 (水曜日は新患)
	—	—	—	—	宇留野勝久	14:00~15:00
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	—	豊岡 志保	—	豊岡 志保	—	9:00~12:00
脳 神 経 外 科	朽木 秀雄	—	朽木 秀雄	—	—	月曜日13:00~16:00 水曜日9:00~12:00
手 話 外 来	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	(9:00~15:00)
整 形 外 科	<山形大> (第4)	—	—	—	<山形大> (第2・第4)	9:30~12:00
放 射 線 科	—	桐井 一邦 <山形大>	—	—	鹿戸 将史 <山形大>	13:30~16:00
歯 科	—	—	<山形大>	<山形大>	—	水曜日14:00~16:00 木曜日13:30~16:00
高 次 脳 機 能 障 がい 科	—	—	伊関 千書 (隔週) <山形大>	鈴木 匡子 (隔週) <東北大>	—	9:30~12:30 予約窓口:高次脳機能 障がい者支援センター TEL.023-681-3394
糖 尿 病	—	—	—	<山形大>	—	8:40~12:00
消 化 器 内 科	—	—	—	—	長倉 敬智	11:00~12:00
耳 鼻 咽 喉 科	—	—	—	<山形大>	—	15:00~
皮 膚 科(※)	—	—	—	—	齊藤 亨 <山形大>	※病棟対応(第2・第4金曜日)

(学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。)

- ◆初 診 受 付: 平日8:30~11:30
- ◆再診(予約外)受付: 平日8:30~11:30
- ◆休 診 日: 土曜日、日曜日、祝日、
12月29日~1月3日
- ◆急患は随時受け付けますが、来院前に必ず
ご連絡ください。
(☎023-684-5566)
- ◆紹介状をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示ください。
- ◆地域医療連携室
(☎代表023-684-5566/FAX023-681-9477)



編集後記

冷えについて。寒い日が続き体温の調節機能が低下しやすい季節です。冷えは不眠や頻尿、浮腫みの原因にもなります。冷えはさらに血液循環を悪くし、さらなる冷えにつながります。体を温める食べ物(地下で育つ食べ物)特に根菜類や発酵食品を食べ、体を冷やさないようにしましょう。体を冷やさない服装を選ぶことも重要です。睡眠をしっかりととり自律神経の働きを整え冷え症を予防しましょう。(M.H)



独立行政法人 国立病院機構山形病院

〒990-0876 山形市行才126-2

TEL023-684-5566(代)

FAX023-684-2519(代)

発行責任者 宇留野勝久

編 集 山形病院広報委員会

